

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	物理基礎	2単位	1年次	必修	
教科書	高校物理基礎(7実教-物基704)				
副教材等	ベストフィット物理基礎(実教出版)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
運動についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	運動について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
波についての観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	波について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	波に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
電気についての観察、実験などを通して、物質と電気抵抗、電気の利用について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	電気について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	電気に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
さまざまなエネルギーの特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について理解している。	さまざまなエネルギーの特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について、問題を見いだし、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	エネルギーとその利用に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく説明することができる。	物理現象について正しく理解している。	物理現象について正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。	物理現象について正しく表現することができる。	物理現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6	物体の運動	・物体の運動 ・等加速度直線運動 ・力と運動 ・運動の法則	17	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物体の運動	・運動方程式 ・仕事 ・力学的エネルギー ・熱	16	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11 12	波	・波とは ・音波	17	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
1 2 3	電気	・電気とエネルギー	16	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
通年	テスト		4	○ ○	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	生物基礎	2単位	1年次	必修	
教科書	生物基礎(104数研 生基707)				
副教材等	リードLight 生物基礎 新課程(数研出版)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生物の特徴・遺伝子について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の特徴・遺伝子について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	生物の特徴・遺伝子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
神経系と内分泌系による調節・免疫について、情報の伝達、体内環境の維持の仕組みの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	神経系と内分泌系による調節・免疫について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現している。	神経系と内分泌系による調節・免疫に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
植生と遷移・生態系について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	植生と遷移・生態系について、観察、実験などを通して探究し、植生と環境との関係性を見いだして表現している。	植生と遷移・生態系に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく説明することができる。	生物現象について正しく理解することができる。	生物現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	生物現象について正しく表現することができる。	生物現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目	評価のポイント(規準)
				① ② ③	
4 5 6 7	生物の特徴	・生物の特徴 ・遺伝子とその働き	22	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9 10 11	ヒトの体の調節	・神経系と内分泌系による調節 ・免疫	22	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1 2 3	生物の多様性と生態系	・植生と遷移 ・生態系とその保全	22	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
	考查		4	○ ○	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	化学基礎	2単位	2年次	A群	
教科書	化学基礎(東書.化基701)				
副教材等	ニースステップアップ化学基礎(東京書籍)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
化学と物質について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学と物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質の構成粒子・物質と化学結合について、原子の構造、電子配置と周期表、イオン、結合の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子・物質と化学結合について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の構成粒子・物質と化学結合に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質と化学反応式について、物質、化学反応式、酸・塩基、酸価と還元などの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	化学現象について正しく表現することができる。	化学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6 7	化学と人間生活	・化学と物質	22	○ ○ ○	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9 10 11	物質の構成	・物質の構成粒子 ・物質と化学結合	22	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1 2 3	物質の変化とその利用	・物質と化学反応式 ・化学反応 ・化学が拓く世界	22	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
	考查		4	○ ○	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	地学基礎	2単位	2年次	A群	
教科書	高等学校 地学基礎(数研・地基704)				
副教材等	新課程「リードα地学基礎(数研出版)」				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
惑星としての地球について、地球の形と大きさ、地球内部の層構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	惑星としての地球について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	惑星としての地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
活動する地球について、プレート運動、火山活動と地震の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	活動する地球について、観察、実験などを通して探究し、活動する地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	活動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。	大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
地球の変遷・環境について、宇宙、太陽系と地球の誕生、古生物の変遷と地球環境、日本の自然環境の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球の変遷・環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷について、規則性や関係性を見いだして表現している。	地球の変遷・環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。	地学現象について理解し、正しく理解することができる。	地学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	地学現象について正しく表現することができる。	地学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6	地球のすがた	・惑星としての地球 ・活動する地球 ・大気と海洋	18	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8	地球のすがた	・大気と海洋	10	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
9 10 11	変動する地球	・地球の変遷	17	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1 2 3	変動する地球	・地球の環境	21	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
	考查		4	○ ○	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	物理	5単位	2年次	BC群	
教科書	高等学校 物理(183第一-物理709)				
副教材等	新課程版 セミナー物理(第一学習社)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
運動・熱力学についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	運動・熱力学について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
波についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	波について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	波に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
電磁気についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	電磁気について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	電磁気に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
原子核物理についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	原子核物理の特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について、問題を見だし、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	原子核物理とその利用に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく説明することができる。	物理現象について正しく理解している。	物理現象について正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。	物理現象について正しく表現することができる。	物理現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6	平面内の運動	・平面内の運動 ・放物運動 ・剛体・モーメント ・力積・運動量	44	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物体の運動	・円運動 ・単振動 ・万有引力 ・気体の法則	44	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11 12	波	・波の伝わり方 ・音 ・光	44	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
1 2	電気	・電場と電位 ・電流 ・電流と磁場 ・電磁誘導と電磁波	30	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
3	原子核物理	・電子と光 ・原子と原子核	13	○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	生物	5単位	2年次	BC群	
教科書	生物(104数研.生物704)				
副教材等	新課程 リードLightノート 生物(数研出版)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生物の進化について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	生物の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
生命現象と物質について、細胞と分子の関係、代謝などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子の関係、代謝の特徴を見いだして表現している。	生命現象と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
遺伝情報の発現と発生について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、その関係性を見いだして表現している。	遺伝情報の発現と発生に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
生物の環境応答・生態と環境について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の環境応答・生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、その関係性を見いだして表現している。	生物の環境応答・生態と環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく説明することができる。	生物現象について正しく理解することができる。	生物現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	生物現象について正しく表現することができる。	生物現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6	生物の進化	・生命の起源と細胞の進化 ・遺伝子の変化と進化の仕組み ・生物の系統と進化	44	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	生命現象と物質	・細胞と分子 ・代謝	44	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	遺伝情報の発現と発生	・遺伝情報とその発現 ・発生と遺伝子発現 ・遺伝子を扱う技術	29	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	生物の環境応答	・動物の反応と行動 ・植物の環境応答	29	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
2 3	生態と環境	・個体群と生物群集 ・生態系	29	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	化学基礎	2単位	3年次	D2群	
教科書	化学基礎(東書.化基701)				
副教材等	ニースステップアップ化学基礎(東京書籍)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
化学と物質について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学と物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質の構成粒子・物質と化学結合について、原子の構造、電子配置と周期表、イオン、結合の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子・物質と化学結合について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の構成粒子・物質と化学結合に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質と化学反応式について、物質、化学反応式、酸・塩基、酸価と還元の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	化学現象について正しく表現することができる。	化学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6 7	化学と人間生活	・化学と物質	20	○ ○ ○	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9 10 11	物質の構成	・物質の構成粒子 ・物質と化学結合	20	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1 2 3	物質の変化とその利用	・物質と化学反応式 ・化学反応 ・化学が拓く世界	17	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
	考查		3	○ ○	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	地学基礎	2単位	3年次	D2群	
教科書	高等学校 地学基礎(数研.地基704)				
副教材等	新課程 リードα 地学基礎(数研出版)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
惑星としての地球について、地球の形と大きさ、地球内部の層構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	惑星としての地球について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	惑星としての地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
活動する地球について、プレートの運動、火山活動と地震の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	活動する地球について、観察、実験などを通して探究し、活動する地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	活動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。	大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
地球の変遷・環境について、宇宙、太陽系と地球の誕生、古生物の変遷と地球環境、日本の自然環境の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球の変遷・環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷について、規則性や関係性を見いだして表現している。	地球の変遷・環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。	地学現象について理解し、正しく理解することができる。	地学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	地学現象について正しく表現することができる。	地学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6	地球のすがた	・惑星としての地球 ・活動する地球 ・大気と海洋	16	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8	地球のすがた	・大気と海洋	10	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
9 10 11	変動する地球	・地球の変遷	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1 2 3	変動する地球	・地球の環境	16	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
	考查		3	○ ○	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	化学	5単位	3年次	D3/E4群	
教科書	化学 Vol.1 理論編(東書・化学701)/化学 Vol.2 物質編(東書・化学702)				
副教材等	新課程版 セミナー化学基礎＋化学(第一学習社) 新課程二訂版 スクエア最新図説化学(第一学習社)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
物質の状態と平衡について、物質の状態とその変化、溶液と平衡についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質の状態と平衡について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	物質の状態と平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質の変化と平衡について、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の変化と平衡について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の変化と平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
無機物質の性質について、無機物質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	無機物質の性質について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	無機物質の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
有機化合物の性質について、有機化合物、高分子化合物の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	有機化合物の性質について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	有機化合物の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	化学現象について正しく表現することができる。	化学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6	物質の状態と平衡	・ 物質の状態とその変化 ・ 溶液と平衡	45	○ ○ ○	・ 実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物質の変化と平衡	・ 化学反応とエネルギー ・ 化学反応と化学平衡	45	○ ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	無機物質の性質	・ 無機物質	30	○ ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	有機化合物の性質	・ 有機化合物 ・ 高分子化合物	30	○ ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	応用物理基礎	2単位	3年次	E2群	
教科書	新編 物理基礎(啓林館.物基306)_1年次で使用				
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 物理基礎(数研出版)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
運動についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	運動について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
波についての観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	波について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	波に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
電気についての観察、実験などを通して、物質と電気抵抗、電気の利用について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	電気について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	電気に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
さまざまなエネルギーの特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について理解している。	さまざまなエネルギーの特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について、問題を見いだし、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	エネルギーとその利用に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく説明することができる。	物理現象について正しく理解している。	物理現象について正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。	物理現象について正しく表現することができる。	物理現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6	物体の運動の応用	・物体の運動 ・等加速度直線運動 ・力と運動 ・運動の法則	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物体の運動の応用	・運動方程式 ・仕事 ・力学的エネルギー ・熱	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	波の応用	・波とは ・音波	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	電気の応用	・電気とエネルギー	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	応用化学基礎	2単位	3年次	E23群	
教科書	化学基礎(東書.化基701) 2年次使用				
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 化学基礎(数研出版) 2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 化学基礎(ラーンズ)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
化学と物質について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学と物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質の構成粒子・物質と化学結合について、原子の構造、電子配置と周期表、イオン、結合の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子・物質と化学結合について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の構成粒子・物質と化学結合に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質と化学反応式について、物質、化学反応式、酸・塩基、酸価と還元の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	化学現象について正しく表現することができる。	化学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6 7	化学と人間生活の応用	・化学と物質	24	○ ○ ○	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9 10 11	物質の構成の応用	・物質の構成粒子 ・物質と化学結合	24	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	物質の変化とその利用の応用	・物質と化学反応式 ・化学反応 ・化学が拓く世界	12	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	応用生物基礎	2単位	3年次	E12群	
教科書	生物基礎(104数研 生基707)_1年次使用				
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 生物基礎(数研出版) 2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 生物基礎(ランズ)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生物の特徴・遺伝子について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の特徴・遺伝子について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	生物の特徴・遺伝子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
神経系と内分泌系による調節・免疫について、情報の伝達、体内環境の維持の仕組みの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	神経系と内分泌系による調節・免疫について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現している。	神経系と内分泌系による調節・免疫に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
植生と遷移・生態系について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	植生と遷移・生態系について、観察、実験などを通して探究し、植生と環境との関係性を見いだして表現している。	植生と遷移・生態系に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく説明することができる。	生物現象について正しく理解することができる。	生物現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	生物現象について正しく表現することができる。	生物現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6 7	生物の特徴の応用	・生物の特徴 ・遺伝子とその働き	24	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9 10 11	ヒトの体の調節の応用	・神経系と内分泌系による調節 ・免疫	24	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	生物の多様性と生態系の応用	・植生と遷移 ・生態系とその保全	12	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	応用地学基礎	2単位	3年次	E3群	
教科書	高等学校 地学基礎(数研 地基704) 2年次使用				
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 地学基礎(数研出版)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
惑星としての地球について、地球の形と大きさ、地球内部の層構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	惑星としての地球について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	惑星としての地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
活動する地球について、プレート運動、火山活動と地震の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	活動する地球について、観察、実験などを通して探究し、活動する地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	活動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。	大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
地球の変遷・環境について、宇宙、太陽系と地球の誕生、古生物の変遷と地球環境、日本の自然環境の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球の変遷・環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷について、規則性や関係性を見いだして表現している。	地球の変遷・環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。	地学現象について理解し、正しく理解することができる。	地学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	地学現象について正しく表現することができる。	地学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6	地球のすがたの応用	・惑星としての地球 ・活動する地球 ・大気と海洋	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8	地球のすがたの応用	・大気と海洋	10	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
9 10 11	変動する地球の応用	・地球の変遷	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1 2 3	変動する地球の応用	・地球の環境	17	○ ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
	考查		3	○ ○	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	応用物理	2単位	3年次	E3群	
教科書	高等学校 物理(183第一 物理709) 2年次使用				
副教材等	新課程版 セミナー物理(第一学習社) 2年次使用				
	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック＆演習 物理(数研出版)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
運動・熱力学についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	運動・熱力学について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
波についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	波について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	波に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
電磁気についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	電磁気について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	電磁気に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
原子核物理についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	原子核物理の特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について、問題を見だし、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	原子核物理とその利用に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく説明することができる。	物理現象について正しく理解している。	物理現象について正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。	物理現象について正しく表現することができる。	物理現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6	平面内の運動の応用	・平面内の運動 ・放物運動 ・剛体・モーメント ・力積・運動量	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物体の運動の応用	・円運動 ・単振動 ・万有引力 ・気体の法則	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	波の応用	・波の伝わり方 ・音 ・光	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	電気の応用	・電場と電位 ・電流 ・電流と磁場 ・電磁誘導と電磁波	15	○ ○ ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	応用化学	2単位	3年次	E5群	
教科書	化学 Vol.1 理論編(東書・化学701)/化学 Vol.2 物質編(東書・化学702)				
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 化学(数研出版) 2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 化学(ラーンス) ニュースコープ化学実験(東京書籍)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
物質の状態と平衡について、物質の状態とその変化、溶液と平衡についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質の状態と平衡について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	物質の状態と平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質の変化と平衡について、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の変化と平衡について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の変化と平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
無機物質の性質について、無機物質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	無機物質の性質について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	無機物質の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
有機化合物の性質について、有機化合物、高分子化合物の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	有機化合物の性質について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	有機化合物の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	化学現象について正しく表現することができる。	化学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5 6	物質の状態と平衡の応用	・物質の状態とその変化 ・溶液と平衡	18	○ ○ ○	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物質の変化と平衡の応用	・化学反応とエネルギー ・化学反応と化学平衡	18	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	無機物質の性質の応用	・無機物質	12	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	有機化合物の性質の応用	・有機化合物 ・高分子化合物	12	○ ○ ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
理科	応用生物	2単位	3年次	E3群	
教科書	生物(104数研・生物704) 2年次使用				
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 生物(数研出版) 2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 生物(ランズ)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。					
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生物の進化について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	生物の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
生命現象と物質について、細胞と分子の関係、代謝などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子の関係、代謝の特徴を見いだして表現している。	生命現象と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
遺伝情報の発現と発生について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、その関係性を見いだして表現している。	遺伝情報の発現と発生に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
生物の環境応答・生態と環境について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の環境応答・生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、その関係性を見いだして表現している。	生物の環境応答・生態と環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく説明することができる。	生物現象について正しく理解することができる。	生物現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	生物現象について正しく表現することができる。	生物現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4 5	生物の進化の応用	・ 生命の起源と細胞の進化 ・ 遺伝子の変化と進化の仕組み ・ 生物の系統と進化	12	○ ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
6 7	生命現象と物質の応用	・ 細胞と分子 ・ 代謝	12	○ ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9	遺伝情報の発現と発生の応用	・ 遺伝情報とその発現 ・ 発生と遺伝子発現 ・ 遺伝子を扱う技術	12	○ ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	生物の環境応答の応用	・ 動物の反応と行動 ・ 植物の環境応答	12	○ ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	生態と環境の応用	・ 個体群と生物群集 ・ 生態系	12	○ ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】